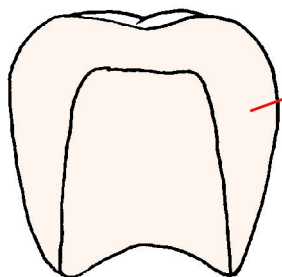


今注目のセラミック治療をご紹介します

近年、審美治療に関心の高い方が増えてきたこと、銀歯が金属アレルギーの原因になる可能性があることなどにより、セラミック治療を希望する方がだんだん増えてきています。今回は今注目のセラミック治療をご紹介します。

プレスセラミック

噛む力が強いと割れやすい、という従来の欠点を補ったプレスセラミックは、透明感のある美しさと強度を備えています。奥歯の詰め物にも適応できます。

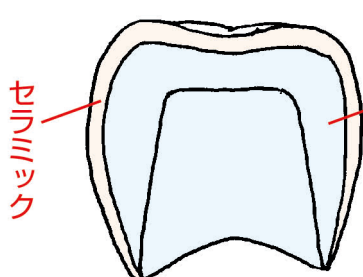


すべてセラミック

透明感があって美しい、しなやかな強さ

ジルコニア+セラミック

美しさと強度を備えた、人工ダイヤモンドとも呼ばれるジルコニアの表面にセラミックを施した被せ物で、これまでは金属でしかできなかった本数の多いブリッジも適応できます。



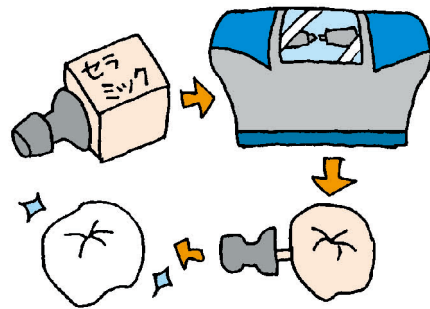
セラミック

ジルコニア

ダイヤモンドのように硬い、白くてキレイ

CAD/CAM

コンピュータによって被せ物などを設計し、セラミックのブロックを機械で削り製作します。歯科技工所のコストがない分、比較的リーズナブルにセラミックの白い歯を入れることができます。



歯のQ&A

Q かみ合わせが悪いと、体に影響がでますか?



A 歯並び、かみ合わせが悪い状態を「不正咬合」といい、体に様々な不調を起こすことがあります。以下に、不正咬合による代表的な体の不調を挙げていますが、これ以外の不調を起こすことも考えられます。気になる方はご相談ください。

不正咬合が体に及ぼす主な影響

◇むし歯・歯周病

隅々まで歯磨きできないことでむし歯や歯周病のリスクが高まります。また、特定の歯にかみ合わせの負担がかかりすぎて歯周病が悪化しやすくなります。



◇口臭

磨き残しが多い、出っ歯などでかみ合わせが悪いため口が閉められず唾液が乾く、といったことで細菌が繁殖し口臭の原因に。



◇顎関節の痛み・雑音

顎の関節に負担がかかり、顎関節の痛みや口を開け閉めする際に雑音が出る「顎関節症」の原因になることがあります。



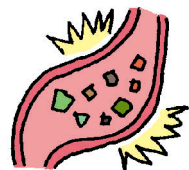
◇頭痛・肩こり・首の痛み・腰痛

噛むために働く筋肉の動きがアンバランスになり、そこにつながっている他の筋肉が緊張したり、体の平衡バランスが崩れることにより、頭痛・肩こり・首の痛み・腰痛などの不調を引き起こすことがあります。



◇胃腸への影響

うまく咀嚼できなかったり、唾液による消化が十分に行われないことで、胃や腸に負担がかかりやすくなります。



◇肥満

よく噛めないことにより、丸のみや早食いになり肥満の原因になることがあります。

